

物部川清流保全推進協議会部会「濁水対策を進めるWG」要旨（第3回）

日 時： 平成23年4月13日（水） 10:00～15:00

場 所： 10:00～12:00 せせらぎ水路～物部川河口付近～後川放水路付近
13:00～15:00 のいちふれあいセンター2階研修室（香南市野市町）

出席者： 別紙のとおり

内容

1 現地視察

- (1) せせらぎ水路にて、水が茶色く濁っている様子を確認。
 - ・濁度測定（10:10、濁度 136、水温 12.5℃、晴れ）
- (2) せせらぎ水路付近の農地にて、代掻き作業の様子を確認。
 - ・水を入れながらの代掻き、作業中にも止水板を使用していない等
- (3) せせらぎ水路から本川への合流地点にて、濁水が本川に流れ込む様子を確認。
 - ・合流地点から約 20m 上流点の濁度測定（12:00、濁度 36.0、水温 14.3℃、晴れ）
- (4) 物部川河口付近にて、後川との合流地点の濁りの様子を確認。
- (5) 後川放水路付近にて、秋田川と鑄野川の合流地点の濁りの様子を確認。
 - ・後川樋門付近の調査地点の濁度測定（9:25、濁度 37.0、水温 12.5℃、晴れ）

2 協議

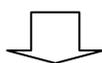
- (1) 事務局（環境共生課）より、前回（2回目）の議事録要旨説明
- (2) 事務局（環境共生課）より、次の内容を説明した。
 - ①平成23年の農業濁水調査の中間報告。
 - ②愛媛県南予地方局及び広見川等農業排水対策協議会が実施した農業濁水対策の取組を説明するとともに、啓発用DVDの視聴。
- (3) 今後、WG参加団体でできる広報・啓発活動について意見交換を行った。
 - ・各農家は田んぼから水を流すことに抵抗感がないのが現状。農業濁水の現状や原因に関する情報を各農家に伝えることが重要だ。
 - ・浅水代掻きや止水板の活用は技術的にも確立されている。浅水代掻きが農家に浸透しないのは農家側にとって「やり方を変える理由がないから」なので、農家が何十年もの間当たり前にやってきたことを変えてもらうためにどのように説明をしていくかが今後の課題だ。
 - ・物部川清流保全計画の意義を流域の住民に十分認識をしてもらうことが必要だ。
 - ・例えば土や肥料の流出を防ぐことがコスト削減につながるなど、切り口を変えた広報も有効ではないか。
 - ・現地を見て、用水と排水との濁りの差や本川へ流れ込む濁水の様子などがよく分かった。
 - ・市の広報紙では紙面的な制約が大きく、十分な広報が難しい。例えばJAの稲作部会等の場でDVDを流すなどして周知を図るなどすれば農家へも浸透しやすいのではないか。また、農家側にも何かメリットになることを訴えていくことも重要だ。

- ・深水では除草剤の効果も低下するし、苗の定着も悪くなる。
- ・中央東農業振興センターでは数年前から、代掻きや田植え作業時の注意点について、広報用の文案を作成して市やJAに配布している。
- ・(物部川21世紀森と水の会の) 会員にも濁水対策の情報を流して、具体的な広報活動を行っていききたい。
- ・「天然アユが育つ清流・物部川の水でつくった米」としてブランドになれば、農家にとってのメリットになりうるのではないか。
- ・後川にはどこから濁水が流れてきているのか等農業濁水の実態を、関係機関の協力を得て整理してほしい。
- ・流域住民みんなが「農業濁水を出さないことが重要」という思いになれるかどうかが重要だ。
- ・放水路の水門管理について、管理者（中央東土木事務所）に聞いてみてはどうか。
- ・濁水調査ポイントとして、農業排水が本川に戻ったあとの濁度データが必要ではないか。

【まとめ】

〈大年会長〉

- ・農業濁水の課題に対する取組の全体像を整理してほしい。
- ・DVDを活用する等によって、各農家に関心を高めてもらうことが必要。
- ・「清流」をキーワードにした農業・産業振興の枠組みとして産業振興計画ともリンクさせながら付加価値を作り出す戦略ができれば、農家のメリットにつながるのではないか。
- ・継続した濁水調査によって基礎的なデータの積み重ねも重要。
- ・来年度、モデル的なかんがいエリアの農家の協力を得て、浅水代掻きや止水板の活用による試験的な取り組みを実施してはどうか。



◆濁水対策の取り組みの全体像について、事務局で資料を作成する。

◆来年に向けて、浅水代掻きや止水板の利用に試験的に取り組む実証圃を設置して得られたデータを農家への説明材料にすることを検討する。

◆アユに焦点を絞った濁水対策を訴えるのではなく、「清流」をキーワードとした流域の振興策という視点で取組をPRして、社会に認められる仕組みをつくる。

◆後川放水路の水門管理について、事務局で管理者から情報を得て、次回WGで報告する。